

令和6年度 レポート評価票

科目コード	34500	科目名	特別支援教育(令和元年度入学生より)	設題番号	設題1	単位数	1
-------	-------	-----	--------------------	------	-----	-----	---

学籍番号		所属	※ 兼攻学生のみ記入				
氏名		専攻	幼児専攻	保育専攻			
提出回数	初回	再提出	<input type="checkbox"/> 不合格レポートは添付しません ※ 前回レポートが旧設題・紛失の場合のみチェックを入れてください				

⑧ 1科目に2設題以上の出題がある場合、どちらか片方の設題のみの提出は認めません。再提出の場合は、前回提出レポートを添付している場合のみ、不合格設題を修正したものを提出することが可能です。再提出の際に、前回提出分から設題変更になっている場合、もしくは前回提出分を一部でも紛失した場合は、科目ごとの設題すべてを再作成し、「不合格レポートは添付しません」にチェックを入れてください。

評価	合格	不合格 (再提出)	添削者
【論文作法】※2つ以上(C)評価に該当した場合は再提出となります。			
評価規準	良く書けている(A)	もう少し(B)	要書き直し(C)
論文作法① 文字数が適切である。	<input type="checkbox"/> 指定された文字数を満たして書かれている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 指定されている文字数から2割以上増減している。
論文作法② 参考にした文献を情報の不足なく書くことができる。	<input type="checkbox"/> 参考文献・URL がテキストを含めて3つ以上あげられており、かつ必要な情報に漏れがなく書き方も適切で、記述方法が文献間で統一されている。	<input type="checkbox"/> 情報に誤りや記述不足があるが、文献・Web サイトが特定可能である。記述方法が文献間で不統一である。	<input type="checkbox"/> 参考文献がテキストを含めて3つ以上あげられていない。この情報だけでは他者が文献にアクセスできない。
論文作法③ 文法上の誤りおよび誤字脱字がない。	<input type="checkbox"/> 全体を通じて「である調」である。体言止め・箇条書きなどのレポートに不適切な表現がない。誤字脱字がないか、あっても適切に修正されている。	<input type="checkbox"/> 「です・ます」が混在する、体言止めなどレポート上不適切な表現がわずかにある。誤字脱字が散見されるが、意味を著しく損なうほどではない。	<input type="checkbox"/> 文体が非統一である。体言止め・箇条書きを複数用いている。誤字脱字が多いか、修正されていても誤字脱字があまりにも多い。
論文作法④ 正確に読み手に伝わる文章表現ができ、段落構造が正しく設定されている。	<input type="checkbox"/> レポート全体を通じて、正しい文法で、文意が通じやすい表現を心掛けている。内容のまとまりに応じた段落が構成されている。	<input type="checkbox"/> 全体としてはおおむね内容が理解できる。段落構造以外での改行が見られる。段落開始時の一字下げが見られない場所がわずかにある。	<input type="checkbox"/> 一読して文章を読み取れない文章が多数ある。段落以外での改行が見られる。段落開始時の一字下げが見られない場所が多数ある。

【内 容】※1つ以上(C)評価に該当した場合は再提出となります。			
評価規準	良く書けている(A)	もう少し(B)	要書き直し(C)
内容① 注意欠如・多動症の診断基準が正しく説明できている。	<input type="checkbox"/> 「不注意」と「多動性・衝動性」の二症状が適切に記述されている。	<input type="checkbox"/> 少なくとも「不注意」と「多動性・衝動性」の両方について触れてはいる。	<input type="checkbox"/> 「不注意」と「多動性・衝動性」のいずれかまたは両方をあげていないか、説明に誤りがある。
内容② 注意欠如・多動症の幼児が示す「心の育ち」の例が適切に、複数あげられている。	<input type="checkbox"/> 「心の育ち」の例が適切にあげられている。単なる特徴の表記にとどまらず、「育ち」(変化)の形で記述されている。	<input type="checkbox"/> 「心の育ち」の例として、少なくとも注意欠如・多動症の特徴として認められるものがいくつか正しく書かれている。	<input type="checkbox"/> 特徴があげられていないか、間違つて説明されている。「特徴」と見なせる要素ではない単なる用語の説明にとどまっている。
内容③ 「特別な教育的ニーズ」が正しく理解され、②で示した例から考えられる適切なニーズが述べられている。	<input type="checkbox"/> ②の項目で述べた注意欠如・多動症の心の育ち・特性から考えられる、生活の中で子どもが「必要だ」、「こうして欲しい」と考えるであろうことが適切に述べられている。	<input type="checkbox"/> ②の項目で述べた注意欠如・多動症の心の育ち・特性と関連付けた、こどもを主軸とした困難などが、抽象的であっても一定程度述べられている。	<input type="checkbox"/> 前項が達成されておらず評価できない。教育支援や計画についてだけ書かれ、適切なニーズが述べられていない。前項と無関係なニーズや、一般的なニーズだけを述べている。
内容④ ③の項目で示した「特別な教育的ニーズ」に応じた支援が述べられている。	<input type="checkbox"/> ③の項目で述べた注意欠如・多動症の心の育ち・特性を踏まえた特別な教育的ニーズに応える支援について、保育の現場で行える範囲のものが適切に記述されている。	<input type="checkbox"/> ③の項目で述べた注意欠如・多動症の心の育ち・特性を踏まえた特別な教育的ニーズに応える支援について、多少抽象的である、現実性が乏しい部分がある、不正確な部分があるなどの欠点は見られるものの、一定程度は述べられている。	<input type="checkbox"/> 前項が達成されておらず評価できない。適切な支援が述べられていない。前項と無関係な支援が述べられている。年齢・場所等の面で、「保育」と無関係であるなど、現実的でない支援が述べられている。支援方法に明白な誤りがある。

【その他指摘事項】

--